

## 第2サイクル優先製品ウェビナー質疑応答:

### Safer Products for Washington

Washington State Department of Ecologyは2024年7月11日、2度のウェビナーを開催し、[Priority Chemicals Report to the Legislature](#)<sup>1</sup>（議会に提出したPriority Chemicals Report）最終報告書のサマリーおよび優先製品調査の最新情報を共有し、意見を求めました。

**注意:**この文書は、2024年7月11日に開催されたウェビナーで参加者から寄せられた質問とその回答、および総合的な意見をまとめたものです。[ステークホルダーのウェブページ](#)<sup>2</sup>に記載される[プレゼンテーション資料](#)<sup>3</sup>および「Safer Products for Washington」に関する詳細情報を参照してください。ご質問等は[SaferProductsWA@ecy.wa.gov](mailto:SaferProductsWA@ecy.wa.gov)までお寄せください。

## 質疑応答

ステークホルダーは、製品特定プロセスに関する意見を公表しました：

- 論理的かつ科学的なアプローチに感謝する。
- 貴団体のアプローチは理にかなっていて好感が持てる。背景とこのプロセスについて、短時間かつ簡潔な説明してくれたことに感謝している。現在までの経緯と理由を説明してくれたことに感謝している。
- 単一カテゴリーで複数の化学物質を扱うことは非常に重要である。取り上げてくれたことに感謝する。
- このプロセスの透明性に感謝している。
- コミュニティに情報を提供し続ける努力とSafer Productsについてどのように考えているのかに関する洞察力に感謝している。

---

<sup>1</sup> [apps.ecology.wa.gov/publications/SummaryPages/2404025.html?](https://apps.ecology.wa.gov/publications/SummaryPages/2404025.html?)

<sup>2</sup> [www.ezview.wa.gov/site/alias\\_\\_1962/37555/safer\\_products\\_for\\_washington.aspx](https://www.ezview.wa.gov/site/alias__1962/37555/safer_products_for_washington.aspx)

<sup>3</sup> [www.ezview.wa.gov/Portals/\\_1962/Documents/saferproducts/July 2024 Webinar Presentation.pdf](https://www.ezview.wa.gov/Portals/_1962/Documents/saferproducts/July%2024%20Webinar%20Presentation.pdf)

- このプロセスが進むにつれて、潜在的な規制をよりタイムリーで費用対効果の高いものにするため、Department of Ecologyが化学物質メーカー（およびToxic Substances Control Act（アメリカの化学物質規制法）に基づいた新化学物質の承認時にはFederal Environmental Protection Agency（アメリカ合衆国環境保護庁、EPA））と協力することをお勧めします。

## 質問と回答の概要

**質問：化学物質を制限するプロセスについて教えてください。**

**回答：**「Safer Products for Washington」では、消費者向け製品に含まれる化学物質を制限するのに5年のプロセスを踏むよう定められています。このプロセスでは、以下の手順を踏むことが義務化されています：

1. 優先化学物質と化学物質クラスを特定する。
2. 優先化学物質を重要な資源とする、または多く利用する優先製品を特定する（現在の状況）。
3. 規制を決定する—優先化学物質のより安全な代替品が実現可能であり、優先製品で利用可能である場合にのみ規制が可能となる。
4. 規則を採択する。

**質問：貴団体を取り上げているのはわずか10製品ほどです。どうしたら製品数を増やすことができるでしょうか？また製品の代わりに機能性を使用することは可能ですか？**

**回答：**法令上、当局は製品の使用についても考慮しますが、製品そのものに重点を置く必要があります。また製品範囲を最大限まで増やすのは難しいです。当局のリソースには限界があり、段階を進むごとに仕事量も増加します。

製品の特定部品に重点を置くことは選択肢のひとつです。これにより、焦点を絞りつつ幅広い製品分野を対象にできます。例えば、第1サイクルでは幅広い電気・電子製品を対象にしましたが、焦点を当てたのはこれらの製品のプラスチック製外装部品でした。

**質問：地域社会の意見を活用しながらも、有毒性が必ずしも最も高いとは限らないが世間で認知された化学物質に不用意に焦点を当てないようにするために、どのような努力をしていますか？**

**回答：**化学物質や製品は非常に広範囲であるため、Washingtonの人々が懸念している化学物質や製品を確実に調査したいと考えています。調査内容の優先順位決定には地域社会の意見を参考にしていますが、最終的には専門家による査読を経た科学やその他の情報に頼っています。例えば、化粧品に含まれる化学物質に深刻な懸念がある場合、当局は科学的な手段を用いて化粧品に含まれる化学物質とその危険性を評価するでしょう。

法令には、優先化学物質と優先製品が満たすべき厳格な基準が定められています。科学的データがその懸念を裏付けていなければ、それらの化学物質は優先されません。

**質問：化学物質クラスは全化学物質を同等に扱うことが多いが、ほとんどの場合、クラス内のすべての化学物質の危険性が同等であるとは限りません。この異なる危険性をどのように管理していますか？**

**回答：**当局は3つの方法で異なる危険性に対処しています：

1. 優先化学物質クラスを特定する場合。この段階では危険性情報を有する化学物質を選別し、より安全である可能性を示すデータがある物質を特定します。
2. より安全な代替品を特定する場合。代替品が既存の化学物質やプロセスより安全かどうかを判断するのに、製品に使用される可能性のある同クラスの化学物質を調査します。その調査をもとに、その代替品が最小限の基準あるいは追加的な危険有害性の基準を満たす必要があるかどうかを判断します。
3. 同クラスにおける化学物質のうち、より安全な可能性のある代替物質を除外する場合は、透明性があり厳格な「分類内」基準を設定します。この基準から外れるデータを使用してクラス内における化学物質を除外し、クラス全体の危険性を共有しないことを証明できます。例えば、食品・飲料缶に含まれるビスフェノール類の規制では、この基準を用いてテトラメチルビスフェノールFを除外しました。

**質問：製品使用に関連するバイオモニタリング・データがない場合は、ばく露の可能性をどのように評価しますか？**

**回答：**当局はほとんどの優先化学物質についてバイオモニタリング調査を行っていますが、多くの場合、特定の製品からのばく露の割合を把握しているわけではありません。代わりにばく露経路を検討します。例えば、「どのような化粧品が使用されているか」、「ばく露の可能性はあるか」などの質問をします。

**質問：包装に食品包装は含まれますか？**

**回答：**食品包装に含まれる化学物質を含め、幅広い包装を対象としています。数あるリソースの中で、Migrating and Extractable Food Contact Chemicals（移動および抽出可能な食品接触化学物質、[FCCmigex Database](#)<sup>4</sup>）データベースなどの情報源を利用して、食品包装に含まれる化学物質についての知識を深めています。

**質問：この第1サイクルは初めての試みでしたが、どのような教訓を得ましたか？**

**回答：**第1サイクルで得た教訓をもとに、プロセスにいくつかの変更を加えました。教訓は特に二つあります：

1. 製品の分野や範囲、詳細について、メーカーから早い段階で意見を出してもらう必要があるということ。これは、議論に参加する必要がある人物とのコミュニケーションを取るのに役立ちます。
2. プロセスの早い段階における費用と利点に関する議論が有益であるということ。第1サイクルでは、規則制定プロセスにおいてのみ、費用と利点について考慮しました。第1.5サイクルの第3段階で、規制決定報告書（regulatory determinations report）に予備的市場分析を追加しました:議会に提出した [Regulatory Determinations Report: Safer Products for Washington Cycle 1.5 Implementation Phase 3](#)<sup>5</sup>（第1.5サイクル実施第3段階）。第1.5サイクルの規制決定報告書に市場分析を追加することで、利害関係者が経済分析について意見を提供する機会が増え、規制決定の際に市場要因を考慮することができるようになりました。

---

<sup>4</sup> [www.foodpackagingforum.org/resources/fccmigex](http://www.foodpackagingforum.org/resources/fccmigex)

<sup>5</sup> [apps.ecology.wa.gov/publications/SummaryPages/2404023.html](https://apps.ecology.wa.gov/publications/SummaryPages/2404023.html)

**質問：**当初の第1サイクル規制が古いデータに基づいており、より良いデータが入手できるようになったとEcologyが判断した場合、法令に基づきEcologyが第1サイクル優先製品の規制を緩和させることは可能ですか？

**回答：**はい。Ecologyは過去に採択された全規制に対処できます。科学的情報が新しいデータを提供した場合は、それに対応します。しかし、追加された科学的情報によりこれまで考えられていたより事態が悪化していると判明することが多く、規制を緩和することはあまりありません。

規制の変更は、別の規則制定プロセスを予定するのではなく、次回予定される規則制定プロセスの中で行われる可能性が高いです。

**質問：**企業はどのようにして新しい規制に関する最新情報を入手できますか？

**回答：**[ステークホルダーのEメールリスト](#)<sup>6</sup>に登録することで、最新情報や今後のウェビナーに関する情報を受信できます。Safer Products for Washingtonを進めるためのご意見をお聞かせください。

現在、優先製品の特定プロセスについて説明しています。取り組む製品の決定後、規制を決定し、このサイクルの規則制定プロセスを行います。

当局は2023年5月に[Chapter 173-337 Washington Administrative Code](#)<sup>7</sup>（Washington行政法、WAC）を採択し、現在は製品中のPFASに関する規制決定を実施するプロセス中です。ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物（Per- and Polyfluoroalkyl Substances、PFAS）の規則制定に関する詳細は、[PFAS規則制定のウェブページ](#)<sup>8</sup>を参照してください。

また、有害化学物質からの移行を支援する情報を含む[グリーンケミストリープログラム](#)<sup>9</sup>も実施しています。

---

<sup>6</sup> [public.govdelivery.com/accounts/WAECY/signup/40160](https://public.govdelivery.com/accounts/WAECY/signup/40160)

<sup>7</sup> [app.leg.wa.gov/WAC/default.aspx?cite=173-337](https://app.leg.wa.gov/WAC/default.aspx?cite=173-337)

<sup>8</sup> [ecology.wa.gov/regulations-permits/laws-rules-rulemaking/rulemaking/wac-173-337-nov2023](https://ecology.wa.gov/regulations-permits/laws-rules-rulemaking/rulemaking/wac-173-337-nov2023)

<sup>9</sup> [ecology.wa.gov/Waste-Toxics/Reducing-toxic-chemicals/Green-chemistry](https://ecology.wa.gov/Waste-Toxics/Reducing-toxic-chemicals/Green-chemistry)

## 連絡先

[SaferProductsWA@ecy.wa.gov](mailto:SaferProductsWA@ecy.wa.gov)

360-407-6700

## ADAアクセシビリティ

ADA（Americans with Disabilities Act、障害を持つアメリカ人法）の配慮を請求する場合は、

電話 360-407-6700 またはEメール

[hwtrpubs@ecy.wa.gov](mailto:hwtrpubs@ecy.wa.gov) にご連絡いただくか、

[ecology.wa.gov/accessibility](https://ecology.wa.gov/accessibility) を参照してください。

電話リレーサービスまたはTTYを利用するには、711または877-833-6341にお電話ください。